

ペットボトルが ペットボトルに 再生される 社会を目指して

- ・ペットボトルは、他のプラスチック製品に比べ資源としての価値が高く、ペットボトルへの再生が何度でも可能です。
- ・ペットボトルは、国内全体で年間約233億本^{※1}販売され、うち約89%^{※1}がプラスチック製品等に再利用されていますが、ラベルやキャップの分別が徹底されていないことなどから、現在、何度でもリサイクル可能なペットボトル材料としては、約16%^{※1}しか利用されていません。

3分別の徹底

会議、イベント、自動販売機等で提供するペットボトル

自動販売機の例



①ボトル本体 ②ラベル ③キャップ

ペットボトルは3分別

回収ボックスは、「缶・ビン」、「ペットボトル・ラベル」、「キャップ」と3種類



3分別された後、梱包される

不十分な分別

自動販売機の例

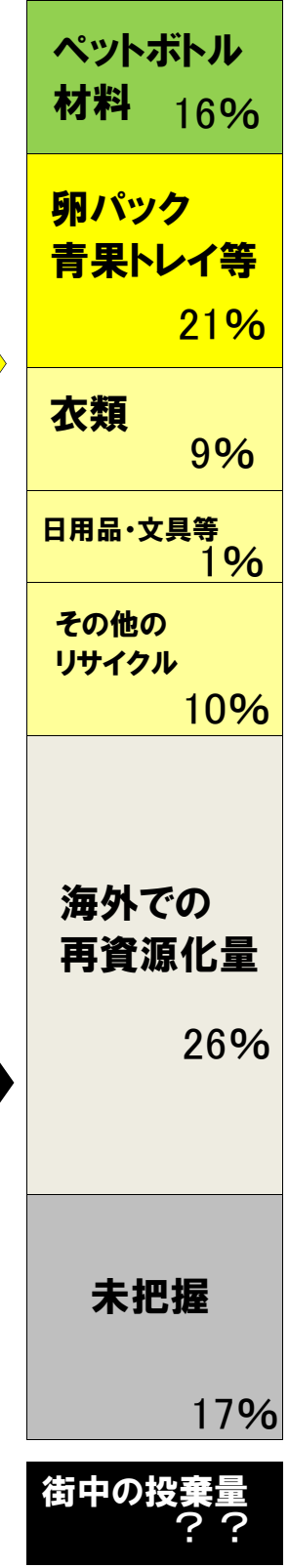


不十分な分別の例



分別されずに、梱包される

下記数値根拠は※2



何度でもリサイクル可能

主にワンウェイプラとして使い捨て

ペットボトル材料として約16%が利用されている。

燃えるごみなどへの混入により焼却・埋立処理される分等

(出典) ※1 : PETボトルリサイクル推進協議会 PETボトルリサイクル年次報告書2021から引用
 ※2 : PETボトルリサイクル推進協議会 PETボトルリサイクル年次報告書2021から推計